

学校だより(いしがき)

卒業生号 令和4年3月10日
文責 校長 石橋 節二 TEL94-2038

学校教育目標

「ふるさと中原を担う生徒の育成」

～自律と共同を通して～

今回の学校だより卒業生号は、第75回卒業証書授与式で話す内容です。卒業式が時間制限されていますので、当日は概要だけになると思います。中原中学校HPに掲載していますので卒業後も見てください。

○中原中学校第75回卒業証書授与式(3年生修了式での講話)

今年もコロナウイルス感染拡大防止のため、来賓なし、時間も制限された卒業証書授与式となります。そこで、明日の卒業式で話す予定の内容をこの修了式で事前に話しておきたいと思います。

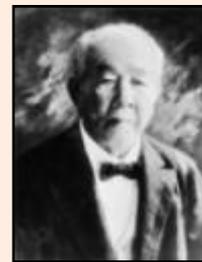
明日の卒業生に向けての式辞では、以下のような話をする予定です。

式 辞 (挨拶・卒業生の功績紹介は省略)

さて、皆さんは、四月になると、それぞれが選んだ道を進んでいくわけですが、門出にあたり、皆さんへの期待と願いを込め、三つのこととお話したいと思います。

【一つめ】は「希望・志をもち、苦しくても努力を継続できる人になって欲しい」ということです。

今年度3学期始業式(放送)で、**渋沢栄一氏**の『夢七訓』を紹介し、人間の成長・努力の原動力となる夢や志をもつことの大切さを話しました。人生はある意味、自分との戦いでもあります。長い人生の中では、すぐに結果が表れないことが多くあります。いろいろな分野で活躍している方々に共通することは、人知れず努力を積み重ねてこられた結果が成果として表れているということです。「実力の差は小さいが、努力の差は大きい」という言葉があります。また、中国の文学者で作家でもあった魯迅(ろじん)という人は「自己満足をしない人間が、永遠に前進し、永遠に希望をもつ」と言っています。皆さんが、これからの人生において、常に希望を抱き、その希望を成就(じょうじゅ)させるために、粘り強く努力を続けてくれることを願っています。



【二つめ】は、「よりよい自分を目ざし、これからも『自律と共同』を心がける人になって欲しい」ということです。本校の教育目標は、「ふるさと中原を担う人」になってほしいということですが、その方法として、みなさんたちは、『自律と共同』ということ意識して学校生活のいろいろな場面で取り組んでくれました。『自律』とは、「安易に周囲に流されることなく、よりよい自分を目ざして成長していくために、自分の感情や行動をよりよくコントロールすること」、『共同』とは、「一緒に事を行うということ」です。これらは、社会生活を営んでいく上で、欠かせない要素の一つだと思います。自ら考え、正しく判断することができる人間性豊かな人として、ますます成長していただき、「ふるさと中原を担う人」になってもらいたいと思います。

【三つめ】は、「故郷(ふるさと)中原に誇りをもち続けてもらいたい」ということです。これまで全校集会や学校だよりなど機会ある毎に学校の歴史や郷土の偉人、地域に関する話をしてきました。みやき町、また中原地区にはすばらしい歴史・伝統・文化があり、多くの素晴らしい人材を輩出しています。これから皆さんたちは大きな世界へ羽ばたいていきますが、心の拠り所として「故郷中原」「故郷みやき町」「故郷さが」という思いをもち続けてほしいと思います。

卒業生の皆さん。只今、三つのこと、「希望・志をもち、苦しくても努力を継続できる人になって欲しい」「よりよい自分を目ざし、これからも『自律と共同』を心がける人になって欲しい」「故郷中原に誇りをもち続けてもらいたい」というお願いをしました。

しかし、中学卒業後、皆さんが歩む道は、順風満帆な時ばかりとはいかないこともあるかと思いますが。中学校とは違う場面に多く出会い、戸惑うこともあるかもしれません。でも、皆さんはこの中原中学校で多くのことを学び、さまざまな体験を通して社会生活で必要とすることを身につけています。このことに自信をもって対応していけば、どのような困難も乗り越えられます。皆さんもそれぞれ自分の進む道において、希望・志をもち、努力を継続することで皆さんたちの大きな可能性に挑戦してほしいと思います。



【ガンバル象】

卒業生58名の輝かしい前途と、ますますの活躍を祈念して式辞といたします。